

放送日 平成28年6月1日(水)
担当者 総務部税務課長 米川 鉄也

おはようございます。総務部税務課長の米川です。

さて、私のいる税務課についてお話しすると、市民税や固定資産税など8つの市税について、賦課から徴収、収納管理に至るまで、市税に関する一切を担当し、市民の皆さんが納めていただいた税金を公正かつ厳格に取り扱うため、日々努力を積み重ねている、33名の職員に支えられた職場であります。

その中で、今日は税務課の今年度の方針三つについてお話させていただきます。

まず、一つ目は「前へ」です。

これは、税務課職員一人一人が、今よりも前へ進もうという意味です。

仕事への姿勢やモチベーション、事務処理の向上など、目に見える形で去年以上の成果を出そうというものです。

二つ目は、「正しく、速く」です。

我々の業務は、市民の財産に直接係るため、正しく処理することが最重要です。その上で、必要以上に市民を待たせないために、効率よく早く処理することにも取り組み、職員としての資質を上げようというものです。

三つ目は、「次の世代の育成」です。

近い将来の北広島市を担う、主任職と若手職員の育成を、課内研修等を通して、6人の主査と力を合わせて行うものです。そして、最後に税務課33名全員で、税務の奇跡を起こします。ここ2年間の収納率の向上を最高の例として、市役所に新しい風を吹かせたいと思っています。税務が変われば、市役所も変わると信じています。

その基本となるのが、コミュニケーション、その核となるのが挨拶なのです。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年6月2日(木)

担当者 総務部防災・庁舎建設課長 及川 浩司

おはようございます。防災・庁舎建設課長の及川です。

今朝は、私が年に一度、毎年体験する挨拶の効能について、まずは、お話しさせていただきます。

私は、現在広葉中学校の同窓会長を務めており、毎年3月には卒業生への激励のため、中学校にお邪魔し、同窓会入会歓迎と激励の言葉を述べさせていただいております。その際、卒業生のみならず在校生の子供たちからも元気で心のこもった「おはようございます」「こんにちは」との挨拶をもらい、すがすがしい気持ちになることはもとより、名前も知らない生徒たち一人ひとりや学校そのものが大変愛おしく思え、この後輩たち全員が、将来自分の夢を実現し、充実した人生を送ってくれることを心から応援しながら、毎年挨拶をさせていただいております。この経験から、挨拶には、自然と相手を、自分やその人が所属する団体などを応援したくなるような気持ちにする、不思議な力もあるのだと毎年感じているところであります。

さて、私が担当しております新庁舎建設工事も来年5月の開庁に向け、鉄骨も立ち上がり、その全貌が徐々に明らかになってまいりました。今後、詳細な配置や設備などを決定していく場面では、職員の皆様の協力が必要でありますことから、ご協力のほどよろしくお願い致します。新庁舎については、市民に親しまれ、来庁者が利用しやすく、分かりやすい庁舎となるよう検討を重ね、建設事業を進めてまいりましたが、真に市民の皆様にあわれ、応援される市役所の雰囲気や風土を作り上げるには、最終的には、職員一人ひとりの笑顔や元気な挨拶、また、市民目線での丁寧な対応が不可欠であると思っております。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年6月3日（金）
担当者 総務部付課長 阿部 泰洋

おはようございます。総務部付課長の阿部です。

私は、今年の4月から新千歳空港近くの千歳市環境センター内に事務所がある道央廃棄物処理組合に派遣されています。

この組合は、北広島市のほか、千歳市、南幌町、由仁町、長沼町、栗山町の2市4町の廃棄物を共同処理するための焼却施設を平成36年から稼働させるため、現在準備を進めています。

組合事務所に勤務する職員は、組合を構成する自治体から派遣されており、今年度は、千歳市から4人、栗山町から1人、北広島市からは、川合次長、工藤主査、私の3人が派遣され、再任用職員と臨時職員を合わせた計10人が協力して業務を行っています。

4月に派遣されてから約2カ月が経ちましたが、2市4町が集まって協議する会議や、組合議会の関係など、各自治体のいろいろな部署の職員の方々と連絡や調整をさせていただく機会があり、みなさんに助けられながら、日々の業務を行っています。

そうした中で、自分のしている仕事が、人と人との関わり合いによって成り立っていることを改めて感じています。

業務に追われると、つい忘れがちになりますが、いろいろな場面での人との出会いや、今一緒に働いている職場の上司や仲間との時間を大切に感じながら、日々の仕事に取り組むことを心掛けていこうと思います。

そして、市民の方々に対しても、一つ一つの出会いを大切にす一期一会のおもてなしの気持ちを持って、笑顔で接していきたいと思っています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいただく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年6月6日（月）
担当者 市民環境部市民課長 榎本 明嘉

おはようございます。市民課長の榎本です。

市民課の業務と特性などをお話ししたいと思います。

市民課の業務は大きく分けて、市民の戸籍や住民記録を管理する戸籍・住基担当と、地域コミュニティや広聴さらに交通安全や防犯活動を行う団体との共同啓発やサポートを行う、生活安全担当があります。

また、住民サービスを目的とした市民と市役所を地域で結ぶ、住民センター市役所連絡所やエルフィンパーク市民サービスコーナーやコミュニティ施設としての広葉交流センターも市民課の仲間として、連携を図っています。

これに加え本年度から、空き家対策とマイナンバー関連の業務を担当する主査が配置されました。

課の業務としては、系統に違いがある担当の集まりではありますが、共通点としてどの担当においても、転入してくる方を含めた市民の方々や、地域で活動されている団体の方々と直接接する市役所の中でも市民に一番近い業務を担っているということです。

よって業務に当たって、戸籍・住基担当では来庁された方が何を目的に足を運ばれたのかを市民の目線で把握し、それに応えなければなりません。また、生活安全担当では、各種の要望やご意見をいただくことが多くありますが、それらを受止め、フットワーク良く取り組む姿勢が大事となります。

当然のことですが、すべての要望等に応えることはできませんが、何とかならないだろうかということをつつも頭に置き市民対応を心掛けているところです。

このようなことから、市民課では市役所の顔として、また、市民に一番近い市役所であることをいつも認識し、市民対応ができるよう努めているところです。

来年度には、市役所新庁舎が建設され、特に窓口体制も大きく変わり市民の方々の利便性が増すものと期待していますが、器に負けない職員でいられるよう今後も市民に一番近い市役所として課員一同頑張っていきたいと思えます。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいただく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年6月7日（火）

担当者 市民環境部西部出張所長 池田 憲孝

おはようございます。西部出張所長の池田です。

出張所勤務3年目になります。西部地区を少しご紹介します。西部地区は、市内5地区の中で最も人口の少ない地区で、現在1617世帯4013人が暮らす地区です。

地区の特徴としましては、ゴルフ場が点在し、特に全日空オープンが行われる輪厚ゴルフ場、meiji カップが行われる島松ゴルフ場がありゴルフ銀座と全国的に有名な地区です。また、「ボーイズビー・アンビシャス」でおなじみのクラーク博士がアメリカへの帰国の際に見送ってきた生徒たちに対し「青年よ大志を懐け」の名言を残し別れた、ゆかりの地でもあります。

西部地区では、地域とともにある学校づくりを進めるとして平成25年4月に道内2例目となる「コミュニティ・スクール」を導入しました。また、例年連合町内会主催の「夏祭り」や「花火大会」、西部地区生涯学習振興会が主催する「地曳網体験」や「西部ふしぎ発見」、さらに輪厚おやじの会主催の「ウパシ・フェスティバル」等年間を通しての各種イベントが用意されており、多くの子どもたちや地域の方々が参加しております。

また、文化活動も活発で、出張所のある農民研修センターでは、毎週「大正琴」「民謡」「ヨガ教室」など多くの高齢者を含めた方々が活動しており、一昨年は「文化のあゆみ45周年」を祝う会が盛大に行われました。

このような情報はその地域でなければわからないこともたくさんあります。長い公務員生活の中で一時ではありますが地域に密着する仕事ができることが大変勉強になりました。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいただく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年6月8日（水）

担当者 市民環境部大曲出張所長 安田 将人

おはようございます。大曲出張所長の安田です。

出張所では、市役所のいろいろな部署に関連した受付業務などを行っていて、地域の方が毎日様々な種類の手続きにいらっしゃいます。今朝は、私が窓口で市民の方と接していて、対応にあたってこれは大切にしなければいけないと改めて思うことをお話しさせていただきます。

一つは、『来所された方のお話をよく聞くこと』です。今日はどのような用件で来られたか、知りたいことは何か、わからないことや困っていることはないかななどを、まずしっかりと把握することです。

もう一つは、『情報を正しく伝えること』です。これは、こちらから正確に説明するというに加えて、相手に正しく理解していただき、不安や誤解を招かないようにするということです。

普段から、職員全員で来所された方に明るく丁寧に対応することに努めています。この二つが疎かになると行き届いた対応にならず、悪くすると相手の信頼を損ねることにもなりかねませんので、いつも意識していなければならないと感じています。

出張所に来られる方の中には、市の本庁舎にはあまり行ったことがないとおっしゃる方も少なくありません。ですから、出張所が地域における市役所の『顔』として地元の方から信頼され、身近に感じていただけるように、これらを念頭において、市民目線の対応をこれからも心がけていきたいと思えます。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年6月9日(木)

担当者 市民環境部西の里出張所長 棚田 吉浩

おはようございます。西の里出張所長の棚田吉浩です。

西の里出張所は、おじさん3人で勤務しています。明るい職場をつくるため、来所する皆さんへの優しい対応ときれいな職場づくりを心掛けています。

西の里地区は、今日も元気です。

西の里公民館の毎週木曜は、朝から中国文化を愛する高齢者が集まり、指と頭の運動をしています。その他の曜日には、カラオケや陶芸、ヨガなどが行われています。毎日、午後からは学童クラブの子どもたちの声が聞こえ、とても賑やかです。

公民館内には、まなビークラブ西の里地区生涯学習振興会が『茶屋まなビー』を設置しており、地域の憩いの場となっています。振興会では、今年もすべての世代を対象にコミュニティづくりや生活文化など、学びの提供が行われます。

西の里地区は、昭和62年度にノーマライゼーションエリア推進事業のモデル地区として北海道から指定を受けており、現在も多くの社会福祉施設があり、障がい者と健常者のふれあいや交流がさまざまな事業の中で行われている地域です。

今年もさまざまなイベントが企画されており、社会福祉施設では第43回を数えるボランティアカーニバルをはじめ、聖芳園祭やふくじゅ園祭などが行われます。また、自治会・町内会活動も盛んです。虹ヶ丘レインボーヒルフェスティバルや西の里夏まつりは、地域の一大事業となっています。

まちの元気は地域が作ります。地域の元気は市民が作ります。元気なまちには活気があります。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年6月10日（金）
担当者 市民環境部環境課長 志村 敦

おはようございます。環境課長の志村敦です。

私は、入庁以来数多くの部署を異動して参りましたが、役所とは「市民の皆様
に役に立つ所」でなければいけないと考え、働かせて頂きました。

現在、私どもの環境課は、毎日の生活の中から排出されるごみをはじめ、騒音
や悪臭などの環境の保全、有害鳥獣や犬などの愛がん動物の対応、スズメバチの
駆除、そして人生の最後を御見送りさせて頂く火葬場や霊園業務に至るまで、市
民の皆さんにとって身近なサービスを提供させて頂く部署であります。

このようなことから、私どもの働き方、公務に対する姿勢の一つひとつが、市
民の皆さんから「役に立つ所」と思ってもらえることができるか否かということが懸
っており、当課職員一同、私どもの業務が市役所業務の最前線の一つであると自
負しております。

業務の中ですぐ解決できるものとできないものがありますが、大切なことは課
題に向けて市職員としての「誠実」があるかどうかであると考えます。日々の業
務に当たって、対応に誠実が欠けていないかどうかを自問し、多くの市民の皆様
に接しさせて頂くことを実践して参りたいと毎日決意して臨んで参ります。

先日から、重要課題の一つであるごみの減量化、資源化に向けて、生ごみ分別
の啓発運動を早朝に職員の皆様とごみステーションに立って実施しておりま
す。

生ごみの分別によりバイオガス化などの資源化が進み、ごみの減量化も図られ、
最終処分場を長持ちさせていきますことから、どうか多くの市民の皆さんにご協
力して頂きたいと、切に願うものであります。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいただく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年6月13日（月）
担当者 保健福祉務部福祉課長 奥山 衛

おはようございます。福祉課長の奥山衛です。

私が担当している福祉課は、障がいのある市民の方々への様々な福祉サービスの提供や、経済的な問題など、日常生活に様々な福祉的支援を必要とする方への行政サービスを実施しています。

また、市民が安心して日常生活を送るために欠かせない地域の民生委員児童委員の皆さん、保護司の皆さんなどとの連携した仕事も行っています。

日々の仕事をする中では、市民の皆さんから様々な相談が数多く寄せられますが、相談の内容によっては複雑な悩みを抱えたものもあります。

市民が悩みを市役所に相談することはとても勇気が必要なことです。職場の仲間には、「市民の皆さんに接する時には、まず、相手の立場にたった対応に心がけることを大切にしよう」と常日頃言って、自分もそのことに心がけて仕事をしています。その対応こそが、市民の皆さんが安心して日常生活を送ることのできる第1歩となると思っています。

また、市民の皆さんからの相談は、福祉課だけでは解決のできないことも数多くあります。他の部署の職員の皆さんには、これまでも、様々な形で福祉課と連携した市民の皆さんへの対応をしていただいておりますが、今後も、より一層のご協力をお願いいたします。

北広島市の人口は5月末で、5万9千157人となりました。職員一人一人が意識すれば、福祉的な支援を必要とする市民と顔の見える関係を、多くの場面で作れる魅力のある街であると思います。私も微力ながら、益々北広島市が魅力ある街となるように日々の仕事をしていきたいと思っています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年6月14日（火）

担当者 保健福祉部高齢者支援課長 三上 勤也

おはようございます。高齢者支援課長の三上です。

みなさんご承知のとおり、年々、高齢化率が上昇し、5月末では29%となり、今年度中に30%を突破するかもしれない状況となっています。また、いわゆる団塊の世代と呼ばれる方が、市内に約3500人お住まいになっておられますので、今後は、後期高齢者が大幅に増加するものと見込んでいるところであります。

加齢により老化が進み、身体機能が低下することは避けられないと思われませんが、本市における要介護認定率につきましては、65歳から74歳までが4%、75歳から84歳までが13%、85歳以上では65%と、やはり、年を追うごとに大幅に上昇しております。

高齢者数の増加に伴い、介護を必要とする高齢者も増加しておりますが、少子化の影響もあり、介護人材の確保が困難な状況になっており、介護事業所においてスタッフを募集しても、応募がない状況も生じております。

このようなことから、今後は、元気な高齢者には介護の担い手としての社会参加を促し、役割を与えることで生きがいを持っていただき、介護予防につながる仕組みを構築していかなければならないものと考えております。

介護や認知症を予防するということは、終わりのない取り組みであり、高齢者自身のセルフケアとして習慣化され、日常生活の中で継続する必要があります。

高齢者支援課以外の部署においても、高齢者を対象とした事業が展開されておりますが、高齢者の持つ知識、経験、技術を生かし、高齢者が地域を活性化する存在となる仕組みに取り組んでいただければと考えるところであります。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年6月15日（水）
担当者 保健福祉部健康推進課長 及川 幸紀

おはようございます。健康推進課長の及川です。

生涯を通じて健康でいきいきと暮らせることは、人々の願いです。高齢化の急速な進行や生活習慣病の増加を背景として、医療や介護が必要な人の増加が深刻な社会問題となってきたことから、市では国や北海道の考え方を踏まえ、健康課題を解消するため平成27年3月に「北広島市健康づくり計画（第4次）」を策定しています。私はいつも、健康づくりは市民が主体であり、市民自らが健康づくりを実践していくことが必要であると考えています。そのために健康推進課では市民一人ひとりの健康づくり活動を支援しながら、様々な事業をこれからも展開していきたいと思えます。

今年の4月からは「まち・ひと・しごと創成総合戦略」の一環として、不妊治療の経済的負担の軽減を図るため、不妊治療費用の一部助成や妊婦さんが安心して妊娠・出産ができるよう、妊婦健診を受診する際の通院費用の一部を助成する新しい事業を導入し、妊娠・出産・子育て環境の充実に取り組んでいます。

また、来年新庁舎に開設される「保健センター」は市民の健康の保持・増進を図るための身近な施設であり、健康づくり事業の拠点として各種保健サービスを提供する役割を担う施設となりますが、市民の皆さんが気軽に立ち寄ることができるような「やさしい」センターを目指したいと思えます。

健康で明るい毎日は一生の財産です。みなさんも正しい生活習慣を身に付けて健やかライフを送りましょう！

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年6月16日(木)

担当者 保健福祉部保険年金課長 渡辺 広樹

おはようございます。保険年金課長の渡辺広樹です。

本日は、保険年金課で担当しています業務につきまして、ご紹介させていただきます。保険年金課では、大きく4つの業務を担当しています。国からの法定受託事務である国民年金業務、国民皆保険制度のもと、北広島市が保険者である国民健康保険事業、すべての75歳以上の方と65歳以上75歳未満の一定の障害のある方が対象である後期高齢者医療制度、子どもやひとり親家庭、重度心身障がい者、未熟児養育に係る医療費の助成業務を行っています。昨年5月に持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律が成立し、平成30年度から都道府県が財政運営の責任主体として市町村とともに国保の運営を担います。

現在、北海道では国が示す新たな国保制度の施行に向けて検討されており、本市の国保業務もその準備を進めることとなります。私は、市役所における業務の中で、市民対応はもっとも重要な業務と考えています。市役所の窓口業務の多くは、法律や規則、要綱・要領などにより、細かく定められおり、その制度の公平性を保つため、職員は的確にその事務を遂行する役割を担っています。そのため、必ずしもすべての市民の求めに応えることができるわけではありません。求めに応じることの出来ないときこそ、いかにわかりやすく説明し、理解を得ることができるかが鍵になると思います。市民にとって、対応した職員の接し方が市職員全体の印象となり、北広島市のイメージとなってしまいます。私たち職員は、業務に精通することはもちろん、日頃より接遇スキルを高める必要があると思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年6月17日（金）

担当者 保健福祉部子育て支援室保育課長 中居 直人

おはようございます。保健福祉部子育て支援室保育課長の中居です。

保育課では市内の保育所、学童保育、児童センターの関係を担当しております。つまり、0歳から18歳までの子育てに関する仕事をしているということになります。ひとことで子育てといいますが、その中身は多岐にわたっておりますが、総じてお話しするのであれば、保護者からお子様達を安心安全な環境でお預かりし、またその居場所を提供していくことが保育課の仕事であると考えております。

現在、北広島市では、0歳から12歳までの子どもたちは減少しており、昨年から今年にかけても約200名の子どもたちが減少しております。

しかし、保育所や学童保育の利用率は増え続けているのが現状であります。核家族化や仕事を持つ保護者の増加など、その理由はいろいろとあるかとは思いますが、そのニーズが高まっているのは間違いありません。

本市は、まち・ひと・しごと創生総合戦略においての4つの基本目標の中で、第1番目に「～子どもを産み育てたい希望をかなえる～」ということ掲げております。この目標を掲げている以上、保育所、学童保育ともに何とか待機児童を出さないようにと保育課スタッフ一同で、日々努力を重ねているところであります。

施設・設備などの整備や確保のようなハード面はもちろんのこと、保育士や指導員などの人的確保のようなソフト面も含めて対応していかなければなりません。皆さんも報道等でお聞きになったこともあるかと思いますが、この人的確保については、本市も非常に苦慮しているところであります。是非、皆さんの周りで保育士等の資格をお持ちの方がいらっしゃればお声掛けしていただきますようこの場を借りてお願いいたします。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年6月20日（月）

担当者 保健福祉部子育て支援室参事 織田 波香

おはようございます。子育て担当参事で、地域子育て支援センター長も兼務しています織田です。

本日は、地域子育て支援センター「あいあい」についてご紹介させていただきます。常設の施設として開設してから7年目を迎えます。0歳から就学前の子育て中の親子の交流や育児相談、情報提供等を行っています。昨年度より子育て支援コーディネーターを配置し、幼稚園や保育園、子育て支援情報を提供するとともに、相談等も受けています。又、60歳以上の方がシルバー子育てサポーターとして活動しており、サポーターの皆さんには、子育て講座のお手伝いや、お子さんと遊んでいただいています。土曜日はサタデーパパとして、お父さん達も遊びに見え元気な声が響いています。

また、ファミリー・サポート・センター事業では、0歳から小学生までのお子さんをお預かりするコーディネートも行っています。お預かりして頂ける協力会員の方には、子育ての応援団として活動していただいています。

平成29年度に完成する新庁舎の1階に「あいあい」は移転します。市役所に入ることにより、「あいあい」に遊びに来られる方々は多くの市民の方、職員の方との出会いがあります。初めての場所、出会いはお互い緊張があると思いますが、「おはようございます」「こんにちは」の挨拶は、人と人をつなげる魔法の言葉です。特に、赤ちゃんや子ども達の笑顔はパワーをいただけます。

これからも、地域子育て支援センター「あいあい」は、子育て中の親子の方々が「笑顔で出会い、つながり、ともに育ちあう場」となっていけるようサポートしていきたいと思っています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいただく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年6月21日（火）

担当者 保健福祉部すみれ保育園長 加藤 真弓

おはようございます。すみれ保育園長の加藤です。

すみれ保育園は0歳～小学校就学前までの園児103名が在籍しています。今年度は17名の園児が入園し、慣れない中で泣いていた子ども達も生活のリズムや、保育士との信頼関係も出来、たくさんの笑顔を見せて落ち着いた元気な毎日を送っています。

また、すみれ保育園では、市内に在住の1歳6か月から就学前までのお子さんを対象に平日の預かり保育を実施しており、保護者の休日就労による休日保育も実施しています。在園以外の親子もたくさん来園しますので、保育士はいつも笑顔磨きをしています。

北広島市の公立保育園の目標に、「健康で心豊かに育ちあう子ども」というものがあります。北広島には、少し足を延ばすと魅力的な公園がたくさんあります。天気の良い日には、あちらこちらに出かけています。自然の恵みが子ども達の心と身体を一層豊かにしてくれます。人間の基礎を築くといわれている0歳から就学前までの大切なこの時期、集団生活を送る中で子ども達に、協調性や思いやりの気持ちが育まれるように配慮しながら保育を進めています。

保育はやりがいのある仕事ですが、保育士不足が深刻で、募集してもなかなか人材が確保できない状況が何年か続いており、大変頭を悩ませています。しかし、すぐに状況が一転するわけではありませんので、今置かれている中で最大限の工夫と努力をして、日々子ども達の健やかな成長の保障と、保護者の皆様が安心して預けられる保育園、職員一人ひとりが生き生きと自らの力を発揮できる保育園づくりを目指しています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいただく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年6月22日(水)

担当者 保健福祉部すずらん保育園長 塚崎 智美

おはようございます。すずらん保育園長の塚崎です。

すずらん保育園は昭和53年4月に開園し、今年で38年目になります。

現在、0歳児から就学前まで75名の子ども達が在籍しています。職員は保育士、調理員、管理人など合わせて39名で運営しています。「健康で心豊かに育ち合う子ども」を目標に、クラス毎に年間計画、月案、週案などカリキュラムを作成して、日々の保育にあたっています。

すずらん保育園の特色は、世代間交流事業の一環として、高齢者との触れあいの機会を設けていることです。毎年、6回行い、4歳児と5歳児クラスの子どもの達が四恩園や『ふれて』の方々と交流をしています。

四恩園では、子ども達が高齢者の皆さんと一緒に歌えるよう、昔懐かしい童謡や遊戯を踊ったり、『むすんでひらいて』の手遊びでは、おじいちゃん、おばあちゃんと一緒に触れ合って楽しみました。その様子を見ていた四恩園の職員の方が「ここにいる、おじいちゃん、おばあちゃんは普段はあまり、表情もなく、話すこともほとんどないのに、子ども達をみて、心から楽しそうに笑っている！一生懸命に拍手もしている！子ども達のパワーはすごい！ぼく達では限界があるんです。」と話されていたのが、とても印象的でした。

子ども達もおじいちゃん、おばあちゃんから沢山の優しさをいただいています。交流の回数が増えるごとに子ども達の表情も変わり、笑顔で触れ合う姿が多くなりました。これからも子ども達が地域で、様々な世代の方々と接する中で、飾らない子ども達の笑顔を大切に豊かな心が育まれる様、保育をしていきたいと思えます。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年6月23日(木)

担当者 保健福祉部稲穂保育園長 大内 文子

おはようございます。稲穂保育園長の大内です。

稲穂保育園には、現在96名の園児が在籍しています。保護者との信頼関係を築き、保育園が安心できる場所となること、保護者と保育士が共にお子さんの成長を喜び、子育てのお手伝いをするのが保育園の大切な役割です。

また、毎日元気に遊んで、美味しく食べて、保育士や友達と一緒に過ごすことが楽しいと思える、生きていくための大切な『心と体の根っこ』の部分を育てることを目標に日々の保育を進めています。

さて、保育園で大切にしている事のひとつに『挨拶の習慣』があります。小さな子どもたちに挨拶を教える場合にまず行うことは、保育士の側から率先して挨拶をすること。その時大切なのは、きちんと立ち止まって、目と目を合わせて笑顔で挨拶をすること。子どもたちは大人の挨拶を聞いて、同じ言葉を返します。その繰り返しの中で挨拶の気持ち良さを感じるようになると、子どもたちの方から自然に言葉が出るようになっていきます。

保育園では、お散歩中に会った地域の方にも積極的に挨拶をしています。小さな子どもたちから『こんにちは』と挨拶をされた大人は、一瞬で笑顔になりますよ。

笑顔の挨拶は人と人をつなぐ大切なコミュニケーションのひとつ。小さな年齢のうちから、習慣として身につくように日々心がけている保育園です。

最後に、待機児童の解消は国を挙げての大きな課題となっています。しかし、そのための保育士の確保はなかなか難しい状況です。もしも皆さんのお知り合いで、資格を持っていて職場を探そうとしている方がいた場合には、ひと言お知らせいただければ幸いです。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年6月24日（金）
担当者 建設部庶務課長 平川 一省

おはようございます。建設部庶務課長の平川です。

庶務課の業務は、国や北海道の建設事業に係る連絡調整に関する事、事業用地の取得や補償に関する事、治水関係団体に関する事などです。この中で重要な案件となっているのは、国が進める東の里遊水地であります。平成23年度から工事が始まり、平成31年度完成を目指し順調に工事が進んでいます。平成28年3月末現在で、掘削が8割、周囲堤が5割の進捗となっています。総面積は150ha、貯水量は620万 m^3 、周囲が約5kmと広大な敷地に、洪水時に水を貯留して河川からの氾濫を抑制し、地域住民の生命や財産を守ることを目的としています。この遊水地に河川から水が入る確率は、20年に一度と想定されていますが、通常は土地利用が可能であり、完成後の土地利用に合わせた工事対応等を国へ要請することとしています。

また、北海道が主体となって進めている、札幌恵庭自転車道線があります。平成16年度には、札幌市白石区からJR北広島駅まで開通し、サイクリングやマラソン、通勤・通学などで多くの市民に利用され、にぎわいを見せていますが、さらに、恵庭までの早期全面開通に向け、北海道と関係して行くこととしています。

このような国や北海道の事業に対し、北広島市民への利益となる大型事業推進のため、協議や要請、市内部の意思統一を図るのが主な業務となります。国や北海道で進める事業に対し、適切に効果的に攻めの姿勢で対応するため、ロジックモデルを作り、上位の戦略目標から達成のための具体的な事務事業の関連性や重要度を、視覚的に担当職員の共有化を図りながら進めています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいただく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年6月27日（月）
担当者 建設部都市整備課長 中垣 和彦

おはようございます。都市整備課長の中垣です。

都市整備課の主な仕事は道路や公園の整備、それと公園の維持管理、緑のまちづくりの推進などです。

道路整備は、市民の暮らしの安全・安心を確保し、通学路の交通安全対策や自転車利用環境整備などにより、安全・安心な道路空間の形成を図っております。

今年度は、大曲榎山線や輪厚中央通など10路線の改良工事を行う予定です。

公園の改修につきましては、南公園のテニスコートの改修や東共栄にあります、わかくさ公園の遊具の改修など5公園の改修を行う予定です。

公園の遊具改修にあたっては、公園周辺に住んでおられる住民の方々と意見交換を行い、新たに設置する遊具の種類などを決めております。

その意見交換会では子どもを含め、多くの市民の方から貴重なご意見を頂いているところです。

頂いたご意見を設計に反映したうえで、市民の皆様が安全・安心に利用することができる公園に改修することを心がけております。

このような業務を行う上で私が特に気にしていることは、費用対効果です。昨今の逼迫した財政状況のもと、公共事業には透明性、客観性が求められており、事業の効率性について検証することが必要です。

たくさんのお金をかけ立派な公園を作ったとしても、利用者が少なければ費用対効果は低く、事業の必要性が疑われます。限りのある費用の中で最大の効果が発揮できるよう心がけ、仕事を進めていくことが重要であると感じています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいadak大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年6月28日(火)
担当者 建設部建築課長 中島 秀男

おはようございます。建築課長の中島です。

建築課の主な業務内容ですが、技術部門は建築確認申請等の窓口業務や公共建築物の設計管理等で、事務部門は市営住宅の建替え計画と管理等を行っています。

先ず、確認申請等に係る業務については、住宅に関する相談や、設計事務所など建築の専門技術者への窓口対応で、職員の知識や経験がその場で問われる場面が数多くあり、様々な事案に対処するため、職員個人の能力のレベルアップがますます必要になっていると感じています。また、公共建築物の設計管理については、私が入庁した昭和50年代後半から平成にかけては、総合体育館や小中学校などの公共施設が数多く建てられた時期でした。現在はこれらの建築物の老朽化が進み、一様に改修時期を迎えています。建設当時は配慮されていなかった床の段差の解消や、使いやすく清潔なトイレ等、ユニバーサルデザインの考え方を念頭に、その改修方法も多様になってきています。これらの業務にあたる建築課内の建築技師は、全員が建築士の資格があり、技術的に質の高い行政サービスを提供すると共に、本市の都市基盤を支えているものと自負しています。

市営住宅についてですが、空き家の募集については、市のホームページや広報誌を通じて市民の皆様にお知らせしております。現在共栄地区において実施している市営住宅共栄団地の建替えについては、来年9月に50戸入居の3号棟が完成する予定です。完成後には限られた戸数ではありますが、現入居者以外の一般募集ができる見込みとなっており、建物の完成が近づいたら、改めて入居募集についてお知らせする予定になっています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいただく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年6月29日（水）
担当者 建設部土木事務所長 新田 邦広

おはようございます。土木事務所長の新田です。

土木事務所は主に、市道や河川などの維持管理業務を行っております。

毎日の市民生活に密着している施設ということもあり、多い年で年間2千件ほどの要望などを直接頂いております。市民の立場に立ち、内容を正確に伺うことはもちろんのこと、できるだけ早く現地に行き確認することに努めております。その日々の対応は、市役所を代表していることを常に意識し、誠実に行っていかなければならないものと考えております。

また、道路や河川を維持管理していく上では、雨や風、雪や気温など、様々な気象状況に臨機に対応しなければなりません。休日や夜間も含めて体制を整えるためには、職員として、施設管理者としての使命感と、職場の一体感が何よりも大切なことと思っています。

チームとしての連帯を保ち、組織力を向上させていくためには、普段からの情報の共有や意思の疎通が必要なことは言うまでもありません。このことを継続していくために、まずは、毎日のよい雰囲気をつくることに意識を傾け、積み重ねていかなければならないと考えております。それには、やはり挨拶や笑顔を大切にすること。それが風通しのよい職場、連帯感、さらなる責任感へとつながるものと考えています。

施設の老朽化は益々足早に進んで行きます。お預かりしている大切な施設を良好な状態に維持することに努め、市民の皆様からのご意見を頂きながら、住みたいまち、住み続けたいまちをめざし、前進してまいりたいと考えております。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。

放送日 平成28年6月30日(木)
担当者 経済部農政課長 砂金 和英

おはようございます。経済部農政課長の砂金です。

農政課では、農業と森林に関わる仕事を行っています。北広島市では、およそ2千haの農地に170戸余りの農家の皆さんが農業を営んでいます。森林は仁別三島を中心に4千3百haあり、この保全を都市整備課と協力して行っています。また、農政課では農業委員会の併任職員もおり、農業の振興とその基盤となる農地を守る仕事を行っています。

実務の一部をお話しますと、様々な補助金の事務、農業に不可欠な用排水施設の管理、食育、農作物を荒らすエゾシカなど有害鳥獣の駆除、グリーン・ツーリズムや六次産業化への支援など、多岐にわたり農家の皆さんの仕事場である田や畑、牛舎などにお邪魔したり、時にはエゾシカの捕獲のため罠をかけたり、とても変化に富んだ職場です。

現在、農政課では農業体験などを通じて余暇を楽しむグリーン・ツーリズムを推進しており、市のホームページのトップにはイチゴ狩りと交流農園マップを大きく掲出しています。このマップにある34の施設には、昨年61万6千人のお客様が訪れています。一方で、大曲周辺の大型商業施設にはおよそ1千万人のお客様が訪れており、お客様を市内全域に誘客することなどを目指し「まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、グリーン・ツーリズムや六次産業化の取組みを支援することとしています。

初夏を迎える今は、イチゴ狩りが最盛期です。7つの農園で7月中旬まで楽しむことができます。このほかにもジェラートや、乗馬体験、農村レストラン、ブルーベリー狩り、新鮮な野菜の直売所なども多くあります。職員の皆様には、北広島農業を体験いただき、一人ひとりが我街の宣伝部長としてその魅力を発信していただきたいと思えます。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日、元気に頑張りましょう。